

# 会 議 資 料

平成28年度 第2回

北はりま定住自立圏共生ビジョン会議

平成29年3月23日（木）

委員名簿 .....	1
成果指標等の設定 .....	2



## 北はりま定住自立圏共生ビジョン会議（第4期）委員名簿

(敬称略)

氏名	政策分野	選出市町	所属・役職
浅野良一	学識経験者	共通	兵庫教育大学・教授
藤田位	医療	共通	西脇市多可郡医師会・会長
富永なおみ	〃	西脇市	西脇小児医療を守る会・代表
大久保恵司	福祉	西脇市	西脇市社会福祉協議会・会長
南畝一郎		多可町	多可町社会福祉協議会・会長
好岡輝壽	教育	西脇市	(公財)西脇市文化スポーツ振興財団・副理事長
吉田恵子	〃	多可町	多可町文化連盟・代表理事
藤本武彦	産業振興	西脇市	西脇商工会議所・副会頭
小寺博史	〃	多可町	多可町商工会・会長
橋本幸治	〃	共通	西脇青年会議所・前理事長
篠田重一	〃	西脇市	北はりま農産物直売所出荷者協議会・会長
安藤松子	〃	多可町	みつばグループ・代表
谷舗尚彦	公共交通	共通	神姫バス株式会社西脇営業所・所長
近藤文博	観光交流	西脇市	西脇市観光協会・監事
藤井英延	〃	多可町	多可町観光交流協会・会長
秋田恵	〃	共通	NPO法人北はりま田園空間博物館
齋藤周蔵	地域活動	西脇市	西脇市連合区長会・会長
笹倉孝行	〃	多可町	多可町区長会・監事
中道忠憲	環境	多可町	北はりま森林組合・組合長

### 【オブザーバー】

澤田光司	兵庫県企画県民部市町振興課企画班長
植田泰章	兵庫県企画県民部市町振興課企画班職員
藪下隆史	兵庫県北播磨県民局総務企画室室長補佐兼総務防災課長
藤原正和	多可町プロジェクト推進課長
森脇伴行	多可町プロジェクト推進課副課長
西川陽子	多可町プロジェクト推進課課長補佐

### 【事務局】

筒井研策	西脇市都市経営部長
萩原靖久	西脇市都市経営部次世代創生課長
長井恵美	西脇市都市経営部次世代創生課課長補佐
澤田康生	西脇市都市経営部次世代創生課主任
宮田和平	西脇市都市経営部次世代創生課職員

## 1 圏域の将来像に係る目標

## 北はりま定住自立圏の将来像

**“うるおい”と“やすらぎ”を感じる  
暮らし豊かな 北はりまの郷**

- 定住自立圏の将来像には、将来推計人口（平成25年3月に国立社会保障・人口問題研究所が公表したものにに基づくものに限る。）を踏まえつつ算出した、定住自立圏の取組の結果、実現されるべき中長期的な将来の人口や高齢化率等の目標を含むものとする。  
（定住自立圏構想推進要綱から抜粋）

- 圏域の将来推計人口  
国立社会保障・人口問題研究所（出生中位・死亡中位）による人口推計

	平成27年	平成32年
西脇市	41,305人	39,624人
多可町	21,859人	20,629人
圏域計	63,164人	60,253人

- 圏域の将来目標人口  
各市町が策定した「人口ビジョン」の将来目標人口を引用

	平成27年	平成32年
西脇市	42,377人	41,185人
多可町	21,858人	20,507人
圏域計	64,235人	61,692人

- 圏域の高齢化率  
各市町が策定した「人口ビジョン」の将来目標人口に基づく高齢化率を引用

	平成27年	平成32年
西脇市	30.1%	31.7%
多可町	33.6%	36.9%

- 圏域の昼間人口  
平成22年国勢調査における昼夜間人口比率を維持する。  
※昼夜間人口比率とは、夜間人口100人当たりの昼間の人口

	平成22年
西脇市	100.6
多可町	88.4
圏域	96.3

## 2 成果指標（KPI : Key Performance Indicator）

- 定住自立圏共生ビジョンに記載する具体的取組に関しては、明確な成果指標を設定し、進捗管理を行うものとする。（定住自立圏構想推進要綱から抜粋）
- 施策に対し、指標を設定する。
- 基準値は平成27年度実績とし、共生ビジョンの計画期間である平成28年度から平成32年度まで各年度の目標値を設定する。

### 生活機能の強化

#### 政策

#### 医療

#### 施策

##### 医療体制の確保

指標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
西脇病院の救急受入件数（件）	7,239	7,500	7,550	7,600	7,650	7,700
西脇病院の救急受入件数 【地域医療拠点病院として、地域の救急事業への貢献度を測る指標であるため】						
西脇病院の医師人数（人）	59	59	62	62	65	65
西脇病院の医師人数 【医療従事者の中核となる医師の確保は、安全・安心な医療サービスにつながるため】						
休日急患センターの受診患者数（人）	503	500	500	500	500	500
休日急患センターの受診患者数 【休日の救急患者に適切な医療を提供し、圏域医療体制の確保につなげるため。指標については、適正受診等を鑑み横ばいとする。】						

##### 医療連携の強化

指標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
西脇病院における患者紹介率・逆紹介率（%）	65.5 60.1	66.0 60.0	66.5 60.5	67.0 61.0	67.5 61.5	68.0 62.0
紹介率：開業医や他の病院から紹介状を持参し来院した患者数／初診患者数 逆紹介率：開業医や他の病院へ紹介する患者数／初診患者数 【指標の上昇により病診連携度合いが測れるため。国が採用する連携度合いの指標である。】						
北はりま絆ネット同意書数（件）	433	450	470	490	510	530
北はりま絆ネット：診療情報の一部を、本人の同意のもと、関係する医療機関で共有するシステム 【指標の増加により患者カルテの共有度合いが測れるため】						
多可町診療所への医師派遣回数（回）	8	8	8	8	8	8
西脇病院から多可町立診療所への医師派遣回数 【へき地医療拠点病院から医師を派遣することにより、多可町立診療所が休診することなく診療が可能となり、医療の安定につながるため】						

##### 地域医療を守る体制の確立

指標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
病院フェスタ・市民フォーラムの参加者数（人）	2,300	2,350	2,400	2,400	2,400	2,400
西脇病院フェスタと市民フォーラムの参加者数 【病院フェスタ・市民フォーラムの参加により、地域医療への意識向上につながるため】						

## 福祉

### 認定審査会業務の連携

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
介護認定審査会開催回数(回)	207	207	207	207	207	207
介護が必要な高齢者が必要な介護サービスを受けることができるよう審査会を開催 【介護サービスの受給につながるため。指標については、介護保険制度の見直し(介護予防・日常生活支援総合事業の開始)により審査件数の目標値設定が難しいため、開催回数としている。】						
障害認定審査会開催回数(回)	12	12	12	12	12	12
障害のある方がその特性に応じて必要な障害福祉サービスを受けることができるよう審査会を開催 【障害福祉サービスの受給につながるため。指標設定は、介護認定と同様。】						

### 地域福祉体制の強化

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
協力事業者からの相談件数(件)	31	65	71	77	84	91
「あんしんはーとねっと」事業協力事業者からの報告件数(地域の高齢者の異変に関する連絡) 【連絡が入ることにより、高齢者の生活の安全確保につながるため】						
メンタルヘルス相談件数(件)	18	36	36	36	36	36
相談件数(精神科医師による相談実施) 【相談場所を確保することにより、適切な支援につなぐことができるため。指標については、年間相談可能件数とする。】						

## 教育・文化

### 文化・スポーツ活動の振興

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
西脇多可新人高校駅伝大会参加チーム・観客等大会規模(人)	10,000	10,500	11,000	11,500	12,000	12,500
参加者及び観客者数 【駅伝コースが西脇・多可にまたがっており、圏域のスポーツ振興につながるため】						

### 文化財の保護及び利活用

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
共同企画展の来館者数(人)	1,297	-	-	1,400	-	-
共同企画展の来館者数(3年ごとに開催) 【共同企画展の実施により、地域の歴史・文化財の啓発につながるため】						

## 産業振興

### 農業の振興

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
認定農業者等を対象とした研修会等の開催回数(回)	3	3	3	3	3	3
研修会等の開催回数 【地域農業の担い手と情報共有する機会を設け、地域農業の発展につなげるため】						
北はりま旬菜館での圏域出荷者売上額(千円)	72,700	73,700	74,700	75,700	76,700	77,700
西脇市及び多可町出荷者の売上金額 【圏域出荷物の売上金額の増加は、地産地消の拡大につながるため】						

## 鳥獣被害防止対策の推進

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
食肉処理加工施設へのシカの搬入頭数（頭）	16	17	20	20	25	30
捕獲鳥獣（シカ）を食用資源として食肉処理加工施設へ搬入した頭数 【捕獲した有害鳥獣を地域資源として有効活用につなげるため】						

## その他

### 地域防災力の向上

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
検討会の開催回数（回）	2	2	2	2	2	2
消防・防災体制整備及び水位監視対策に係る検討会議の開催回数 【災害警戒時の圏域河川の情報把握における有効的な整備方法等について調整を図るため】						

### ごみ処理業務の連携

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
生活系可燃ごみの年間排出量（トン）	9,047	9,020	8,990	8,960	8,940	8,910
西脇市及び多可町の生活系燃えるごみ収集量 【環境負荷軽減とリサイクル意識の向上につなげるため】						

### 火葬及び葬儀業務の連携

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
「やすらぎ苑」葬祭場の利用件数（件）	400	420	420	420	420	420
西脇多可広域斎場施設「やすらぎ苑」第1及び第2葬祭場の利用件数 【圏域住民が利用しやすい環境整備を把握するため】						

### 上下水道業務の連携

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
検討会での協議項目数（累計・項目）	-	1	2	2	3	3
事業運営安定化に向けた検討会議での協議項目数 【兵庫県水道事業のあり方懇話会提言項目の協議を進め、圏域内の安定供給につなげるため】						

## 結びつきやネットワークの強化

### 地域公共交通

#### 地域公共交通ネットワークの維持及び強化

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
コミュニティバスの利用者数（人）	51,269	54,259	58,000	58,000	58,000	58,000
西脇市及び多可町が運行するコミュニティバスの乗車人数（バス年度：10月～翌年9月） 【バス利用者数により、現路線の利便性等を測ることができるため】						
補助対象路線バスの利用者数（人）	71,989	79,320	79,000	79,000	79,000	79,000
西脇市及び多可町の区域を運行する補助対象路線の乗車人数（バス年度：10月～翌年9月） 【バス利用者数の現状維持が、バス路線の維持・確保につながるため】						

## 道路等の交通インフラの整備

### 幹線道路の整備

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
要望活動実施回数 (回)	1	1	1	1	1	1
県への要望活動の実施回数 【継続的な要望を実施することにより、圏域内幹線道路の安全・安心な交通が確保されるため】						

## 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

### 学校給食の地産地消の推進

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
連絡会議の開催回数 (回)	1	1	1	1	1	1
圏域農産物の消費拡大に向けた連絡会議の開催回数 【圏域内地産地消及び消費拡大の向上を目指し、連絡会議を開催する。】						

## 地域内外の住民との交流・移住

### 地域資源の活用による交流・移住の促進

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
観光入込客数 (千人)	2,420	2,461	2,497	2,533	2,569	2,605
西脇市及び多可町の観光入込客数 【観光入込客数の増が圏域外との交流促進につながるため】						
婚活パーティにおけるカップル成立数 (組)	18	25	25	25	25	25
西脇市及び多可町が実施する婚活パーティでのカップル成立数 【カップルが成立することで、圏域住民の定着につながるため。成婚者数の把握が難しく本指標を設定する。】						
市町施策を通じた市内定着者数 (累計・人)	19	46	66	86	106	126
西脇市及び多可町の移住相談窓口や移住支援制度等を利用して圏域内に定着した人数 【定着者数の増が圏域人口の維持につながるため。指標については、累計数値を設定する。】						

## その他

### 環境・エネルギー対策の推進

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
木質バイオマス搬入量 (トン)	860	1,500	3,500	3,500	3,500	3,500
木質バイオマス供給センターへの間伐材等の搬入量 【未利用になっていた間伐材等の有効活用は、森林の適正管理や地球温暖化防止につながるため】						
公共施設等への太陽光発電等の導入数 (累計・施設数)	21	23	23	24	25	27
家庭への太陽光発電 (10kw未満) の導入数 (累計・件数)	1,229	1,316	1,375	1,430	1,485	1,540
公共施設等・家庭への太陽光発電等の導入数 【太陽光発電等の導入推進により温室効果ガス排出量を削減し、地球環境への負荷が少ない低炭素社会の形成につながるため】						



## 住民相談窓口の相互利用

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
消費生活・多重債務相談窓口の相互利用可能日数（日）	240	240	240	240	240	240
消費生活・多重債務相談窓口の開設日数 【相互利用できる相談窓口開設日数の確保により、被害への迅速対応が図れ、消費生活の安定につながるため。相談体制の充実（相談しやすい環境整備）の指標として設定する。】						

## 圏域マネジメント能力の強化

人材の育成及び確保

### ○職員人材育成・確保事業

指 標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
合同研修参加者数（人）	77	80	90	90	90	90
合同研修（スキルアップ研修）の参加者数 【自治体職員の職務遂行能力の向上につながるため】						